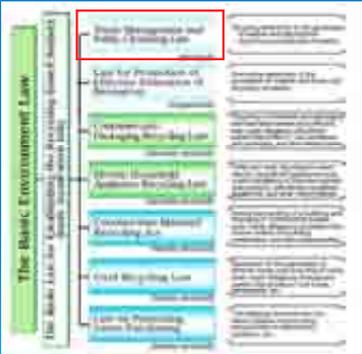


(2) 各都市発表資料 (発表順)

①北九州市環境局 環境政策部 計画課

<p style="text-align: center;">北九州市の一般廃棄物処理事業</p> <p style="text-align: center;">北九州市環境局 計画課 太田 敦</p>	<p>➤ 廃棄物とは何か？ (自治体が処理する廃棄物)</p> <p>➤ 北九州市の廃棄物処理行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 処理重視型から循環型へ (北九州市が処理する廃棄物) ・ 北九州市の廃棄物処理施設の概要 ・ 分別とりサイクルの状況 ・ 2006年7月の「ごみ収集制度の見直し」実施後の状況
<p style="text-align: center;">廃棄物の処理及び清掃に関する法律</p> <p>➤ 定義</p> <p>「廃棄物」とは、ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、ふん尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物の死体その他の汚物又は不要物であつて、固形状又は液状のものをいう。</p>	<p style="text-align: center;">廃棄物の処理及び清掃に関する法律</p> <p>➤ 一般廃棄物 産業廃棄物以外の廃棄物 → 地方公共団体</p> <p>➤ 産業廃棄物 事業活動に伴つて生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類その他政令で定める廃棄物(計20種類) → 事業者</p>
<p style="text-align: center;">産業廃棄物の例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  汚泥 </div> <div style="text-align: center;">  廃油 </div> <div style="text-align: center;">  廃プラスチック </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  鉱さい </div> <div style="text-align: center;">  がれき類 </div> <div style="text-align: center;">  ばいじん </div> </div> <p style="font-size: small;">出典 環境省「日本の産業廃棄物 平成17年版」</p>	<p style="text-align: center;">廃棄物の処理及び清掃に関する法律</p> <p>➤ 責務</p> <p>自治体 一般廃棄物の適正な処理 一般廃棄物の減量に関し、住民の自主的な活動を促進</p> <p>市民 国及び地方公共団体に協力 廃棄物の減量(廃棄物の排出の抑制、再生品の使用、廃棄物の再生利用、廃棄物の分別)</p> <p>国 情報の収集、廃棄物処理技術の推進、必要な技術的及び財政的援助</p>
<p style="text-align: center;">循環型社会</p> 	<p style="text-align: center;">法体系</p> 

北九州市の廃棄物処理行政

北九州市の廃棄物処理に対する考え方の推移

- 1 処理重視型(平成5年まで)
→ 廃棄された物を迅速かつ安全に処分
- 住民が捨てたごみを市が処分するというワンウェイの構造
(日常生活の快適さの向上)
→ ★ ゴミ排出量の増大
→ ★ ゴミの質の多様化(例 プラスチック)
→ ★ 使い捨て製品の増加
- 2 リサイクル型へ(平成5年～)
→ 分別収集の開始(缶およびビン)など
- 3 循環型へ(平成12年～)
→ ごみの発生抑制、再使用、再資源化、グリーン購入

北九州市一般廃棄物処理基本計画

- 平成13年2月策定
- 基本理念 「処理重視型」から「循環型」へ
- リサイクル率の向上 13%から25%へ
→ ごみの発生抑制、再使用、再資源化を基盤とした、再生品の購入・利用(グリーン購入)を含む総合的な施策を展開
- 計画期間 平成22年までの10年間

北九州市の一般廃棄物処理施策

- 1 循環システムの構築
- 2 事業系ごみ対策の強化
- 3 ごみ処理の広域連携
- 4 適正処理の確保
- 5 ごみ処理事業の効率化と市民サービスの向上
- 6 環境教育の充実
- 7 まち美化活動の拡大
- 8 循環型社会のモデル作り

分別収集などの取り組み

- 分別収集の取り組み 1993年開始
→ 廃棄物に含まれる資源の有効活用とごみの減量を考慮
- ★ 缶とビンの分別収集(1993年7月)
- ★ 粗大ごみ収集の有料化(1994年4月)
- ★ ペットボトルの分別収集(1997年11月)
- ★ 一般廃棄物の指定袋制度の導入(1998年7月)
- ★ 紙パックと白トレイの指定場所での収集(2000年7月)
- ★ 蛍光灯の指定場所での収集(2002年7月)
- ★ 色付きトレイの指定場所での収集(2002年7月)
- ★ 家庭ごみ収集制度の見直し(2006年7月)
- ★ プラスチック製容器包装の分別収集(2006年7月)
- ★ 小物金属(鍋、やかんなど)の指定場所での収集(2006年7月)

北九州市のごみ処理

- 家庭ごみ(週2回)(有料指定袋 50円/45リットル)
→ 生ごみ、紙くず、プラスチックなど
- 資源化物(週1回)(有料指定袋 12円/25リットル)
→ 缶、ビン、ペットボトル、プラスチック製容器包装
- 粗大ごみ(月1回)(手数料 300円～1000円)
→ 家具、寝具など
- 紙パック、食品トレイ、蛍光灯、小物金属
(市内のスーパーマーケットなどに回収ボックスを設置)
- ごみの自己搬入(手数料 100円/10kg)
→ 企業や収集運搬業者が市内に持ち込むごみ
(2004年10月まで700円/100kg)

「資源」と「ごみ」のゆくえ



北九州市の廃棄物処理施設



家庭ごみの処理の流れ

－ 収集・運搬 ～ 焼却処理 ～ 最終処分 －

一般廃棄物処理

項目	収集・運搬	収集・運搬	処理	費用
Household garbage	Large waste (40L)	Household garbage	Large (40L)	1,000
	Medium (20L)	Medium (20L)	Medium (20L)	700
	Small (10L)	Small (10L)	Small (10L)	500
Garbage disposal	Household garbage	Household garbage	Household garbage	100
Business waste	Business waste	Business waste	Business waste	100



ごみ集積所 (ごみステーション)



焼却工場

～ 3つの焼却工場での発電 ～



焼却ごみ量
623,100トン/年(2,010トン/日)

余熱を利用した発電
2億4,400万kWh/年

発電による収入
21億8,300万円 = 1,820万米ドル

分別・リサイクルに対する北九州市の基本的な考え方

- > 1 市民にとって分かりやすい
 - ・ 分別の種類を細かくしすぎない
- > 2 リサイクル技術の確立、再生品の需要
 - ・ 物資はリサイクルの仕組みがなければ再生しない
- > 3 コストを含めた効率性
 - ・ 民間および市民の回収ルートを最大限に活用
 - ・ 分別の種類が増えれば、収集コストが増大

◆資源化物の分別収集 1

- 有料指定袋に入れて収集 – 週1回
(市民が指定袋に入れて資源化物ステーションに出した物を収集)
- 1 缶・ビン
 - 2 ペットボトル
 - 3 プラスチック製容器包装

プラスチック製容器包装



このマークが
目印
中身を使い切ったときに不要になるプラスチック製の容器や包装



* 「プラスチック製容器包装」ではないもの
・ 容器・包装ではないプラスチック製品
例: ビデオテープ、おもちゃ、洗面器など

◆資源化物の分別収集 2

- スーパーマーケットなど市内各所に設置した専用の回収ボックスで回収
- 1 紙パック・食品トレイ
 - 2 蛍光管
 - 3 小物金属 (鍋、やかんなど)

スーパーマーケットに設置されている
食品トレイ回収ボックス



蛍光管のリサイクルボックス



蛍光管のリサイクル



蛍光管の再利用物質

小物金属の回収ボックス



家庭ごみリサイクルに向けた地域での取り組み

- 古紙
(地元のボランティア組織による回収に対し、7円/kgの奨励金を交付(回収方法によって金額は異なる)。この組織は、ぼろ布や再使用びんも回収)
- 生ごみのコンポスト化
(家庭から出る生ごみをコンポスト化し、できた堆肥を学校や公園で草花などを育てる肥料として利用)
- 剪定枝/刈草
(町内会で一部回収し、工場で家畜の敷き藁として使用後、堆肥化)
- 使用済み食用油
(町内会で一部回収し、精製後、ごみ収集車の燃料として使用)

ごみの減量とリサイクルの推進



ごみの減量とリサイクルの推進
～地域でのコンポスト化の取り組み～



ごみの減量とリサイクルの推進
～学校でのコンポスト化の取り組み～





2006年7月 家庭ごみ収集制度の見直し

- 早朝マナーアップ運動に13,000人を超える人が参加
- 10日間で延べ10万人の市民が協力

↓

- 家庭ごみの大幅な減量
- 新制度の実施開始と同時に新たな指定袋が定着

ごみの減量

2006年7月～12月の状況

収集した家庭ごみの量

2006年7月～12月	2003年7月～12月
9万3,484トン	12万6,815トン

↓

約3万3,300トン **26%減量**



ごみの減量とは・・・

- ごみを出さないこと

例

- ◇ 「マイバッグ」を使う。
⇒ スーパーマーケットなどにバッグ(袋)を持参
レジ袋を受け取らない
- ◇ 簡易包装を推進する。
⇒ 包装紙、ブックカバーなどを断る
- ◇ リターナブル容器を利用する。
⇒ ビン入りのビール・酒・しょうゆ・牛乳など
- ◇ 長持ちする物を買う。必要以上に買わない。
- ◇ 必要ない物は無料でも受け取らない。

全市的なノーレジ袋運動の推進

キャンパス(「環境パスポート」の略)シール事業

- 2006年12月開始
- 合い言葉「もったいない」
- 買い物にバッグ(袋)を持参し、レジ袋を減らそう！
- 目標 レジ袋20%減

こんなに多くのレジ袋が1年間に使われています。

	日本	北九州市
レジ袋	300億枚	3億枚
原油換算 (200リットルドラム缶)	280万本	2万8,000本

ノーレジ袋 キャンパスシール

キャンパスシール参加店

このステッカーが目印です。

キャンパスシール参加店で買い物のとき、レジ袋を断ると、ポイントシールがもらえます。20ポイント集めると、参加店共通の50円割引券に！

手順は簡単！

ふるしきを使った「マイバッグ」

インスタントバッグに



ウエストポーチに



バスケットに



②北九州市環境ミュージアム

 <p>市民の心が届ける3R環境学習</p> <p>環境ミュージアム 諸藤見代子</p>	<p>北九州市 </p> <p>環境ミュージアム</p> <p>平成14年4月オープン 年間10万人</p>  <p>環境学習 環境情報 環境活動</p>
 <p>3R環境学習の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> □対象年齢を考えて □学校の先生と事前打ち合わせ □ワークショップ・ゲーム・工作を入れた体験学習 □アクティビティを組み込んで全体をプログラムする □3Rの必要性を自らが気づき行動につながることをねらっている 	<p>■目指すは エココミュニケーション 環境問題は自分で手を伸ばし情報をキャッチ。 アンテナを張って考えてみよう!</p> 
<p>■環境ミュージアムのキャラクター 3R未来ホテル</p> <p>リデュース・デュー君(ごみ減量) リユース・ユウちゃん(再利用) リサイクル・サイ君(再資源化)</p> 	<p>■幼稚園児に3Rを伝える体験プログラム 紙芝居「ゴミラがやってきた」 物語から3Rの大切さを理解させ、手遊びで「くるくるくる...リサイクルで変身!」と遊ぶ</p> 
<p>■幼稚園児に3Rを伝える体験プログラム 「お菓子の袋でスタンドグラス」 お菓子の袋でスタンドグラスを作る工作</p> 	<p>■幼稚園児に3Rを伝える体験プログラム リユース ユウちゃん登場 「ごみを増やさないように くりかえし使えるものを使おうね!」</p> 

■小学生に3Rを伝えるプログラム
川のごみについて学び
自分にできること
家族と一緒にできることを考える



■小学生に3Rを伝えるプログラム
公害紙芝居・体験者の話から
廃棄物を出さないものづくりを伝える
(小学校高学年)

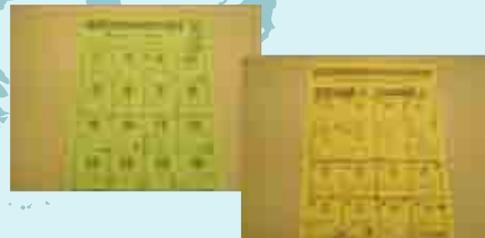


■小学生に3Rを伝えるプログラム
ビンゴゲームをして
3Rを学ぶプログラム(中高学年)
「マイグッツって知っていますか？」



■3Rを伝えるアクティビティ
未来ホタルビンゴ

日常生活を振り返ってみよう！
思い当たるものがあれば穴を開けてみよう。
環境にやさしい生活ができているかな？
環境にやさしい生活をしている子はビンゴになるよ！



■小学生に3Rを伝えるプログラム
北九州市のごみ分別ゲーム
「正しく分別できるかな？」
わかったらおうちの人のお手伝いをしよう！



■小学生に3Rを伝えるプログラム
自分たちのできることから
3Rを考えるプログラム



■3Rを伝えるアクティビティ
「ごみは資源」

♪一緒に歌いながらリサイクルを伝えます



■3Rを伝えるアクティビティ
「しじみでアクセサリー」
捨てる前に何かできないかを
考える貝殻からアクセサリーを作る



■3Rを伝えるアクティビティ
対話しながら3Rを伝える
環境学習サポーター



■3Rを伝えるアクティビティ
来館者が楽しんで参加します
おもしろそう・・・「おいちゃん教えて」



■3Rを伝えるアクティビティ
お菓子の袋がちょうちよに変身



■3Rを伝えるアクティビティ
エコラベルビンゴで学ぶリサイクル
正解者にピンポン！



■3Rを伝えるアクティビティ
地球の大きさから3Rを考える



■3Rを伝えるアクティビティ
「資源とごみ」のゆくえを伝える
「お姉さんの服はペットボトル何本ででき
ているでしょう？」



■3Rを伝えるアクティビティ
リサイクルに関心を持たせる
「あなたならどんなエコグッズを
使ってみたいですか？」



■3Rを伝えるアクティビティ
生ごみリサイクルの紹介
見て触って匂ってみる



3Rを伝える 出張教室プログラム

- ・幼稚園・小学校・中学校
- ・高校・市民センター
- ・市の他施設
- ・海外国際協力

■小学生に3Rを伝えるプログラム
小学校の先生と連携して3R授業
「今日はもろさんと一緒にリサイクル大作戦！」



■小学生に3Rを伝えるプログラム
楽しく一緒にゲームをしよう！
「リサイクルってなあに？」



■高校生に3Rを伝えるプログラム
ごみ分別体験する実習



■高校生に3Rを伝えるプログラム
レジ袋から環境問題を考える



■タイでも大人気
環境紙芝居「ごみらがやってきた」



■市民に3Rを伝えるプログラム
ふろしきでリユース・リデュースを考える
定期プログラム(エコライフプラザ)



■市民に3Rを伝えるプログラム
■ごみゼロ！ ふろしきマイバック



■市民に3Rを伝えるプログラム
親子でできるごみ減量
「お母さんと一緒にやれるよ」



■市民に3Rを伝えるプログラム
昔はだれもが使っていたふろしき
日本の文化を再発見

